

【各解析用インターフェイス作成】

河川解析システム入出インターフェイス作成

入力データのインポート

縦横断面データ、粗度係数、植生データ、流量データ、堤防高など



データの編集・保存・可視化

表形式によるデータの編集および任意ファイル形式の保存機能、
平面・断面グラフ表示によるデータの確認機能



計算の実行

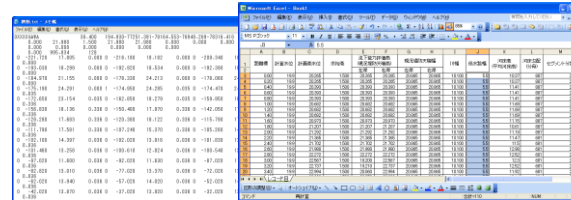
既存モデル、もしくは、新規モデルの組み込みを行い、解析計算の条件設定・計算実行・出力形式の設定など、計算の制御を行う。



結果(アウトプットイメージ)

- ・ 水位縦断面図、流下能力図の表示
- ・ 堤防高、計画水位との比較
- ・ 表形式ファイル(エクセルなど)への出力

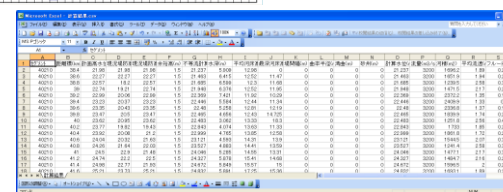
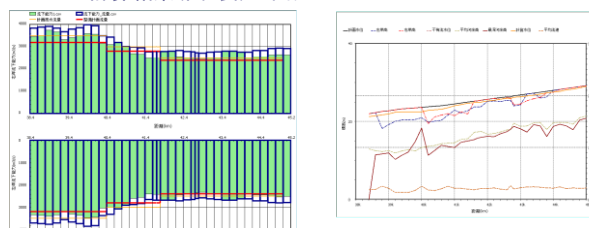
＜テキストファイル/エクセルファイルからのインポート＞



＜入力データ確認・編集インターフェイス＞



＜計算結果(図・表)の出力＞



■ 特徴

- 入力データの可視化による入力ミスの削減
- エクセルライクの操作による入力支援
- 重ね合わせ図表示機能により、条件変更箇所の確認、結果の変化が一目瞭然
- ニーズに応じた機能の追加や拡張が可能

■ OS

- Windows

■ 開発言語

- C#/VB

■ DB/開発ツール

- エクセル

■ 機能

- 任意ファイル形式からのインポート/エクスポート
- エクセルファイルインポート/エクスポート
- 設定データの修正機能
- 縦断面図、横断面図、平面図表示機能
- 植生データの重ね合わせ図
- 計算結果図の表示(縦断面グラフ、流下能力図)